



発行 子ども学習支援グループ須賀の寺子屋

沈丁花の香り、お花の色、旬の食べ物から五感で春を感じています。早いもので寺子屋通信も今年度最終号をお届けします。今年度から入られた支援員さんたちの自己紹介を掲載させていただきました。知らなかった一面もあり、楽しいですね。皆さま1年間ありがとうございました。(伊藤)

## 全員ミーティング&スキルアップ研修会④報告

研修会では不登校の児童生徒の増加した原因に学習のつまずきがある。背景として知的障がいが大きく係わる。その知的な障がいについて学びました。

プロセスを褒めること、スモールステップの原則等のやる気アプローチはグループ討議の中で具体的に話し合いました。担当するそれぞれの子どもたちの長所と



講師の深谷昇平先生

苦手な部分を支援員同士出し合って、その子にあうやる気を見つけ支援していることを話し合いました。充実した会となりました。(鈴木裕理子)



2月23日、いろんな困りごと(対人関係、じっとしておれない、読み書き、計算が苦手等)を抱えた生徒の状況とその対応について深谷顧問による講演があった。その後、講演の「困り感を的確に把握し適切な方法を探る」を受け、担当している生徒の「良いところ・褒めているところ」と「苦手・困り事」についてグループ討議を行い情報共有した。深谷顧問の講演中の「やる気アプローチ10のヒント」は今後教えて行く上で参考になった。(中里 恵)

## ホームページ制作プロジェクト報告

新緑のころの公開にむけて、須賀の寺子屋ホームページのリニューアルを予定しています。

構築作業は、企画立案が大野さん、コンテンツ作成が門馬さん、サーバ構築を守山がそれぞれ担当しております。寺子屋で学ばれる生徒さんの生き生きした様子を全世界(!)に発信し寺子屋のすばらしい活動内容をたくさんの方に知ってもらえるホームページを目指しています。(守山洋介)

現在、素案を作成したところで、フェイスブックにアップしている記事を引用する構成にしていますが、今後は、デザイン等、専門家にブラッシュアップいただく予定です。デザイン面の改善の余地は多々あると思うので、今後どのように発展していくか楽しみにしています。また、支援員の皆さんのご意見も踏まえ、より良いものにしていければと思っています。

活動に興味のある方はご連絡下さい。(門馬敦仁)

## 食支援活動報告 2022年度

今年度も沢山の食料支援をして頂き、とても感謝しています。我が家には食べ盛りが三人いるので、特にお米や冷凍食品、食パンなど大変助かっています。高校生ボランティアさんと一緒に楽しくお手伝いさせて頂き、元気をもらっています。(保護者会員:小山内安曇)



今年度も報徳食品支援センター様をはじめ多くの方々のご協力により、寺子屋の子ども達、ひとり親家庭および生活困窮家庭に食支援活動ができたことに感謝しています。

ご寄付や助成金により、ひまわり子ども食堂様に美味しく栄養のあるお弁当を作っていただいています。高久製パン様からは、子ども達に大人気のパンを安価で購入することかできています。餃子の王将様からは、春夏秋冬の長期休みに餃子弁当を提供していただきました。また、1月からは、パスコ様より毎週1回食パンをいただく事ができています。他にお米やハンバーグ、お菓자에飲料などなど、書ききれません。

きっとおうちでも笑顔で食べているのかな~と想像しながら、来年度も続けていきたいです。(横田佐知子)

## ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク紹介

「平塚を子育てしやすいまちにしたい」との思いから、子どもの支援活動団体の支援者同士が手をつなぎ合い、令和元年平塚市社会福祉協議会の声掛けで準備会が発足しました。コロナ禍で活動が一時頓挫しましたが、令和3年秋より活動を再開し、本年度ネットワーク事業が本格始動しました。

須賀の寺子屋でも、代表の大野が推進委員に任命されたことを機に、この活動の趣旨に賛同し、ネットワーク事業に取り組んでいます。既に、子ども・子育て支援講座の講師。子ども食堂・学習支援団体のつどい。アンケートPJイベント。本ネットワークフォーラム。等を開催し、子育て世代の支えとなるよう活動を展開しています。次年度の活動にもご協力お願いします。(大野 文)

## 支援員さんの自己紹介



### 平澤 映二(小学生/2022.3~)

私は退職するまで平塚の方とほとんど接することがありませんでした。このため退職したら地域の方と接する機会はないかと探し、社会福祉協議会の支援員、留学生に日本語を教えるNPO法人などの団体に所属して活動しています。そんな時に寺子屋の活動を知りました。月2回の学習日の支援活動は大変ですが子供達が集中して学習できるように心がけています。普段は子供達に接することがないので月2回の学習会はとても楽しみです。



### 守山 洋介(高校生/2022.3~)

石川県出身、地元の理系の大学・大学院を出た後、システムエンジニアとして約20年間勤めたのち、現在は、とある商社にて、世界中の人達に必要な医療が提供できることを目指し日々働いております。子供時代は母子家庭で、周辺の方々におおいに助けられながら育ってききましたので、いつか恩返ししたいという思いから寺子屋の活動に参加させてもらっています。



### 茂木 良平(中学生/数学/2022.3~)

秋田県出身です。東京の会社で技術の仕事をし、50代半ばで高専の教員になりました。平塚に住んで37年になります。今は退職し、古文書講読と歴史の勉強をしています。事実は小説よりも奇なりで、歴史は面白いです。寺子屋には昨年参加しました。勉強のお手伝いができるのは楽しいです。少しでも解ってもらえるよう工夫するつもりです。よろしくお願いします。



### 平井 一雄(中学生/数学/2022.4~)

生まれも育ちも須賀の平井です。横浜の自動車部品製造会社に勤務していました。趣味は筋力トレーニングと音楽です。リタイア後、地域の方々に恩返しをすべくボランティア活動を探していたところ「須賀の寺子屋」の活動を知りました。学生時代に立ち返ったつもりで、問題が解けた時の喜びを少しでも感じ、「平井さんに教えて貰ってよかった」と思って貰えるように一緒に学習していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



### 大須賀左知子(小学生・中学生/英語/2022.8~)

千葉生まれ、東京育ち。約10年前に二宮に移住してきました。現在羽田空港のGSEと呼ばれる空港で使用する特殊車両を整備する会社に勤務しています。ホームレス状態の人が販売している雑誌「ビッグイシュー」に興味を持ったことから、ボランティア活動に興味を持つようになりました。学生時代という貴重な時期に共に学ぶ事により、大人になってからも良い記憶として思い出してもらえるように頑張りたいです。

## 学習支援のヒント

### 中学生担当 中村輝夫さんからのヒント

数学は学習の積み重ねが大切な教科ですので、分からないところを積み残しにならないように気を付けています。教材は色々手を広げるのではなく、ワーク「学習ノート」を中心に生徒に学習して貰います。別冊の回答で答え合わせが出来るので、自分の理解度が判ります。特に工夫しているところは、問題を解いた日付を書いておくこと、問題ごとに正解を○、間違いを×と大きく表示させています。日付は、自分の取り組んだ状況と関連して理解した過程が思い出せること、試験準備の際は、×を中心に効率的に復習が出来ます。

### 小中学生担当 清田宗彦さんからのヒント

今年度は、小学4年生と、中学3年生の数学を担当していました。小学生には、受けた授業の復習となるプリントを用意しています。間違いがあれば、何でそうなったかを説明し、分かってもらうことが大事だと思います。中学生の場合は、不得意なところや理解できていないところを本人から聞き出して学習するようにしています。分からないところは、教科書に戻ります。時には1・2年生の数学の教科書を開くこともあります。

学習に限りませんが、基本となる約束事、つまり公式や定理を覚え、使えるようにしておくことがとても重要だと思います。

## 支編集後記

前年のアンケートで、寺子屋通信がよく読まれていることが判り、期待に添えるように取り組んできました。年4回の発行としたことで作業に余裕が出来ました。

生徒や保護者も含めて多くの方々に原稿執筆をお願いしましたが、皆様快く応えていただき感謝申し上げます。(中村・伊藤・大野)